

----- (前回からの続き) -----

先週末からチアキのウェブデザイン部も追い込みが始まった。モトコの別れ際の一言が気になっていたが、ウェブデザインの取りまとめも任されているチアキは責任感も手伝ってか、それどころではなくなっていた。それにアキコが来てからというもの、今までの仕事のやり方と違うところがあって、みんな戸惑っている感じだった。

アキコ「鈴木さん。通販商品カテゴリのページはどうなってるの？」

チアキ「開発の人とリンクテストしてから、最終校正しようとしているのでまだなんですが...」

アキコ「そういうやり方をしないで頂戴。先に技術の人とインターフェースをしっかりと合わせておけば、もうファイナルが出来ているはずなのよ」

チアキ「...はい」

アキコ「鈴木さんの配下のデザイナーとライターにも意識を変えてもらわなきゃ」

今までとやり方が違うから戸惑うのは確かなんだけど...。モトコが言っていたように第二、第三印象とも、とにかく厳しいの一言だった。それに、あれ以来、タイチ先輩も忙しくなったようで、ほとんど顔を会わすことがない。

アキコ「ちょっと、鈴木さん」

席に戻ろうとしたチアキをアキコが呼び止めた。ああ、また何か言われるのかと気が滅入ったが、アキコさんは既に書類に目を通し始めて、もうこっちを見ていない。

チアキ「あの、何でしょうか？」

アキコ「上層からの出張要請よ。詳しいことは、この書類を読んで」

パッと書類を差し出された。受け取ったチアキはとりあえず、さっと目を通したが、アキコが何を言い出すのかを聞き耳を立てながらだったので、あまり頭に入っていない。第一、この忙しいタイミングでどうして？アキコに聞こえないように『ふうー』と息を整えてから問いかけてみた。

チアキ「あの、どういったわけで...」

アキコ「私の指示ではないのよ。詳しくも話せないし、とにかく総務部にはもう話をしてあるから、早朝直ぐに向かってね」

どう考えたって、忙しいこのタイミングはないわよ。アキコさんも関知せずって感じだし、最近、部全体がどうかしちゃってる。

チアキは不満げに自席に戻り書類を読み始めた。懐かしい名前が飛び込んできた。タイチ先輩だ。この出張での打ち合わせ全体を取り仕切る担当になってる。それに出張先はタイチ先輩が元いた会社だ。どんな会社なんだろう？ 純粋に興味がある。チアキはつぶやきながら書類に目を走らせた。

チアキ「それと、えっと、明日の午後から技術移転ミーティングで現場状況説明か…。出席者は…、ええー、こちらからは自分一人だよ。ウェブデザインの仕事は自信がついてきたけど相変わらず打ち合わせは一人だと心細いなあ…」

カレンダーで日付を確認していた時、「社内便で～す」と部員の一人が封筒を置いていった。タイチ先輩からだ。ちょっとドキドキして開封してみる。

『山本です。出張の件は聞かれたと思いますが、現状の仕事の仕方をそのまま先方に話してください。いろいろ質問もされるでしょうが、顧客の守秘義務事項以外は自由に話しても構いません。上層部には了承を得ています。それと、同梱したリーフレットを良かったらどうぞ。例のDOSの説明です。ファイルのコピーとリネームについて書いてあります。メールでとも思っていたのですが、量が多いので書類の方がいいと思って、この形にしました。では、出張頑張ってきてください』

リーフレットは手順らしきものが書かれていた。モトコの一言が引っかかっているけど、どっちみちタイチ先輩には会えないし、とにかく先輩が書いてくれたものは覚えていこうと決めた。私って割り切るのが案外得意なんだ… チアキはそう思い込もうとして、そっとバッグにしまいこんだ。

*

チアキ「ええっと、この窓側の席ね」

早朝、チアキは新幹線の中にいた。しかし、快適よね。ちょっとした間ならノートパソコンで仕事ができるしね。出張用にノートパソコンを貸して欲しいと総務部に話したら、休憩室のものを使っていいって言われたし、ラッキーだったわ。一口、缶コーヒーを飲んでから、チアキはタイチからのリーフレットでDOSの自習を始めた。

タイチ『まず、DOSを起動して、¥foobarディレクトリに移動してください』

リーフレットのいつもながらの文体を見ると、ちょっと気持ちが落ちつかなくなる。それを抑え込むようにチアキはゆっくりとキーを一つ一つ叩いた。

```
C:¥WINDOWS>cd ¥foobar  
C:¥foobar>
```

何度も打った手順だから、もう指が覚えている。リーフレットにはなかったが、foobarディレクトリの内容を確認してみるチアキだった。

```
C:¥foobar>dir
```

```
ドライブ C: のボリュームラベルは WINDOWS 98
ボリュームシリアル番号は 1471-12D6
ディレクトリは C:¥foobar
```

```
.          <DIR>          04-04-05  12:13 .
..         <DIR>          04-04-05  12:13 ..
TEST      TXT           58  04-04-05  12:15 test.txt
          1 個                58 バイトのファイルがあります。
          2 ディレクトリ    4,587.89 メガバイトの空きがあります。
```

前に私が使ったときのままで、別に問題はないよね。でも、あの休憩室のパソコンって使っている人がいるのかしら。だから、総務部の人もすぐにOKを出したのかなあ…。あっと、いけない、いけない、先輩のリーフレットに集中しようっと。

タイチ 『Windowsでファイルをコピーする時、ファイルのアイコンを右クリックして、メニューからコピーを選択。その後、コピーしたいところで、右クリックしてメニューの貼り付けを行ないます(CTRLキーを押しながらファイルをドラッグしても可)。DOSではファイルをコピーするためのコマンドを入力しますが、コピーする方向に気をつけてください』

はあ、方向？Windowsじゃ、ドラッグ&ドロップするだけなんだけど…。チアキにはコピーの方向の意味がわからなかった。

タイチ 『DOSでファイルをコピーするコマンドはcopyコマンドです。
"copy a b"とするとaのファイルをbにコピーします。bが存在していなければbが作られてaと同じ内容になります。bが存在しているとaの内容をbに上書きします』

ふうん。a bってことね。コピー元とコピー先を一緒に指定するんだ。そういえば、Windowsってコピー先は指定しないっていうか勝手に名前が決められるよね。フォルダが違っていたら同じファイル名になるし、同じフォルダだったら「コピー ~」になるし…。やっぱり、DOSとWindowsって微妙に違うんだ。

タイチ 『それでは、前回のtest.txtをtest2.txtにコピーしてみましょう』

チアキ「休憩室のパソコンを持ってきてよかった…。えっと、aがtest.txt
でbがtest2.txtになるから、"copy test.txt test2.txt"かな？やっ
てみるしかないよね」

```
C:\foobar>copy test.txt test2.txt
1 個のファイルをコピーしました。
```

チアキ「あ、出た！コピーしたって」

生まれて初めて、DOSを使ってファイルのコピーができたことに、チアキは
嬉しさを隠せなかった。

チアキ「凄い、これ。キーボードだけでファイルの操作できちゃった！映画
のシーンみたい！本当にできちゃった！」

いつの間にか、チアキはタイチが作ったリーフレットに夢中になっていた。

タイチ『"ファイルをコピーしました。"メッセージが出力されて、
C:\foobar>プロンプトが表示されます。これで、新しくtest2.txt
が作られています。dirコマンドで確認してください』

チアキ「はい。dirコマンドね。このコマンドが一番よく使うみたい」

慣れた手つきでキーを叩くチアキ。新幹線の中、ひざの上に置いたノートパ
ソコンは振動で揺れているがタイプミスはなく、DOSコマンドも完全に空で
打てるようになっていた。

```
C:\foobar>dir
```

(略)

```
.                <DIR>          04-04-05  12:13 .
..               <DIR>          04-04-05  12:13 ..
TEST            TXT             58  04-04-05  14:07 test.txt
TEST2          TXT             58  04-04-07  08:52 test2.txt
                2 個                116 バイトのファイルがあります。
                2 ディレクトリ    4,587.84 メガバイトの空きがあります。
```

DOSの画面にはディレクトリの内容がずらっと表示された。確かにコピーさ
れたのか、ファイルが二つ並んでいる。日付も変わっているし、バイト数も
同じだし。問題ないようね。それで、次は何をすれば？とリーフレットを見
ると、実際にそこにいて教えてくれているように、端的に指示するタイチの
文字があった。

タイチ『typeコマンドでtest.txtとtest2.txtの中身を確認してみてください

い。同じはずです』

チアキ「そうか。この場合、確認はDOSでするのよね。"type test2.txt"でいいはずね」

```
C:¥foobar>type test2.txt
今年の春は良い天気が続きます。
花見の季節になりました。
```

画面にtest.txtと全く同じ内容の文章が現れた。

チアキ「本当だ、おんなじだ！へえー、凄い、これ！」

チアキがふいに視線を感じて回りを見渡すと、みんなこっちを見ている。やっぱーい、これって独り言？思いっきり開発の人と同じじゃない。これから、黙ってキーを打つようにしなきゃ、変な人だって思われちゃう。

黙って黙ってとやっぱり呟きながら、チアキはリーフレットを読み進んだ。そんなチアキの感情の高ぶりとは無関係にタイチの文面は淡々と続いていた。こういう感じが、通信教育のつまらないところよね。でも、ボランティアで教えてもらってるんだし、文句は言えないよね。

タイチ『さて、今はfoobarディレクトリに移動していますが、このディレクトリの中に新しいサブディレクトリを作ることができます。そこで、次にサブディレクトリとの間でファイルをコピーしてみましょう』

タイチの文面にのせられて、チアキの気分がちょっぴりよくなったからか、今度は笑いがこみ上げてきた。フッフ、タイチ先輩ってメールとか文章を書くときと本当にまじめな調子になるのね。『さて、』なんてあらたまって、タイチ先輩がリーフレットを書いている姿を想像すると妙に可笑しくなっちゃう。

タイチ『まず、新しいディレクトリを作成します。ディレクトリ名はnewdirです』

はいはい。ディレクトリを作るんだから、mkdirよね。"mkdir newdir"でいいのかな。キータッチも軽やかにチアキはコマンド入力した。

```
C:¥foobar>mkdir newdir
```

相変わらず、何もDOS画面には反応がない。DOSのこの感じ、不親切だと思うな。まるで黙秘権を行使するみたいだわ。コピーのときは饒舌に「コピーしましたっ」って言うのにディレクトリを作ったときは何も言わないんだから。タイチ先輩はこのあたりは何か書いてくれてるかなあ。

タイチ『新しいディレクトリが作られたはずです。dirコマンドで確認しましょう』

タイチの文面は淡々と綴られるだけだった。やっぱり、メールとかリーフレットとかじゃなくて、直接教わったほうが面白さはダントツよね。

チアキ「とりあえず、dirか」

知らず知らず、また独り言が始まっている。DOSの画面にはdirコマンドの結果が表示されている。

```
C:\¥foobar>dir
```

(略)

```
.                <DIR>          04-04-05  12:13  .
..               <DIR>          04-04-05  12:13  ..
TEST    TXT           58  04-04-05  14:07  test.txt
TEST2   TXT           58  04-04-07  08:52  test2.txt
NEWDIR  <DIR>          04-04-07  09:05  newdir
          2 個                116 バイトのファイルがあります。
          2 ディレクトリ      4,587.84 メガバイトの空きがあります。
```

チアキ「なるほど、<DIR>って表示があるし、大丈夫そうね」

チアキは、キーボードからの命令でパソコンがファイルをコピーしたり、ディレクトリを作ったりするのが、嬉しくてたまらなかった。なぜかはわからないけど、Windowsとは違って、パソコンを直接コントロールしているって感じがなんとも刺激的だった。

*

車窓から見える町並みがどんどん流れていく。すっかり冷めてしまった缶コーヒーが揺れている。ちょっと考え込んでいたチアキはしみじみとつぶやいた。

チアキ「昔の人って、こんな感じでパソコンを使っていたんだ...」

ちょっと前までは、昔のパソコンを使う映画を見ても、過去の出来事だけで覚えたいとも理解したいとも思わなかった。でも、こうやってDOSのコマンドを覚えて、その考え方を理解していくうちに、何かが違うような気がしてくる。昔のパソコンの時代の人がうらやましいな...。それに、タイチ先輩が伝えようとしてくれていることって一体...

タイチ『それでは、newdirディレクトリにtest.txtをコピーしてみましょう』

リーフレットには相変わらずのタイチの文体。昨日は気づかなかったけど、リーフレットの端にコーヒーをこぼしたような跡がある。どんな状態でタイチ先輩はこのリーフレットを作ってくれたんだろう。たった数枚のリーフレットが暖かく感じる。しっかり、覚えなきゃ...

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2005 rpn hacks! All rights reserved